

節電でコスト削減を図りつつ 暑熱対策で 生産性向上に努めましょう

今年も暑い夏がやってきます。乳牛は暑さに弱いため、暑熱ストレスによる生産性低下に加え、死廃事故を招くこともあります。また、夏季は飲用向け生乳の最需要期でもあり、生産性の確保、乳質の維持の観点から、乳牛が快適に過ごせる環境作りが大切です。そのため、以下のポイントに心がけ、節電対策でコスト削減を図りつつ、暑熱対策で生産性向上に努めましょう。



節電の具体的取組み内容 - すぐに取り組める4つのポイント -

- 1 空調機器や搾乳機器・バルクなどのメンテナンスで動作効率を改善する。
- 2 暑熱対策において、つる性植物の利用による日除けや屋根への石灰塗布など、電気を使用しない、あるいは電力消費量の少ない対策を併用する。
- 3 使用していない電気機器のプラグをコンセントからこまめに抜く。
- 4 家の中や事務所の冷房などの設定温度を見直す。

この他に

- 牛舎内の照明をLED照明や高効率蛍光灯に変更する
- 太陽光発電パネルを設置する

なども、無理のない範囲で導入を検討してみてもいいかもしれません。

注：取組みに関しては、生乳の品質や生産性の低下とならないよう、十分ご注意ください。